

令和5年度 物理基礎シラバス

沖縄県立泊高等学校通信制課程

科目名	単位数	年次	履修	スクーリング	レポート
物理基礎（前期）	2	3年次	選択必履修	8回	6回

1. 物理基礎の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2. 物理基礎の概要

(1) 物体の運動とエネルギー (2) さまざまな物理現象とエネルギー

3. 使用教材

(1) 教科書（東京書籍 改訂 新編 物理基礎）
 (2) 令和5年度「物理基礎」報告課題

4. 履修上の心得

(1) スクーリング(面接)を8時間出席する。
 (2) レポートを6回全部提出する。
 (3) 定期テストを受ける。

5. 評価の方法

(1) 上記4の(1)～(3)の条件を満たした場合に、総合的に評価を行う。
 (2) 学習の評価は観点別評価を行う。【知識・技能】，【思考力・判断力・表現力】，【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、それぞれ十分満足できる(A)、おおむね満足できる(B)、努力を要する(C)の3段階で評価する。

6 年間指導計画

面接回数	面接日	学習内容等	レポート トメ切	放送代替する場合のNHK 高校講座「物理基礎」の放送回
1	4/16(日)・17(月)	1-1 直線運動の世界	4/26	第2回、第3回
2	4/23(日)・24(月)	1-2 力と運動の法則	5/7	第8回、第10回
3	4/30(日)・5/1(月)	1-3 仕事とエネルギー	5/10	第16回、第19回
4	5/7(日)・8(月)	2-1 熱・波	5/17	第20回、第24回
5	5/14(日)・15(月)	2-2 電気①	5/24	第31回、第32回
6	5/28(日)・29(月)	2-3 電気②	6/7	第39回、第40回
7	6/25(日)・26(月)	実験・その他	—	1回につき放送代替で視聴していない放送回2回分
8	7/2(日)・3(月)	定期考査対策・問題演習	—	
—	8/13(日)・14(月)	定期考査	—	—

※スクーリングを欠席した場合は、4回までNHK 高校講座「物理基礎」の指定された放送回2回分を視聴し、視聴報告書を提出することでスクーリングに代替できる。

※レポートは3回まで提出期限に遅れて提出できる。ただし、再提出レポート、視聴報告書を含め最終期限（令和5年度前期は7/12(水)）を超えることはできない。

※詳細は学習手帳に記載されている通り。

令和5年度 化学基礎シラバス

沖縄県立泊高等学校通信制課程

科目名	単位数	年次	履修	スクーリング	レポート
化学基礎（前期）	2	2年次	選択必履修	8回	6回

1. 化学基礎の目標

- (1) 物質の基本的な構造を粒子的に理解できる。
- (2) 物質の性質や反応を理解することを通してその利用や役割を考える。

2. 化学基礎の概要

- (1) 物質の構成
- (2) 物質の種類と性質
- (3) 物質の変化

3. 評価の方法

レポートと定期テストを元に、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の三観点で評価する。

4. 使用教材

- (1) 教科書（東京書籍「改訂 新編化学基礎」）
- (2) 令和5年度化学基礎報告課題

5. 履修上の心得

スクーリングを全8回出席し、レポートを全て提出し、定期テストを受ける事

6. 年間指導計画

面接回数	面接日	学習内容	レポート締切日
1	4月16日 17日	1編 化学と人間生活	4月26日
2	4月23日 24日	2編1章 原子の構造と元素の周期表	5月7日 ※日曜日
3	4月30日 5月1日	2編2章 化学結合	5月10日
4	5月7日 8日	3編1章 物質と化学反応式	5月17日
5	5月28日 29日	3編2章 酸と塩基	6月7日
6	6月18日 19日	3編3章 酸化と還元	6月28日
7	6月25日 26日	実験・実習	
8	7月2日 3日	定期考査対策	

令和5年度 「生物基礎」 シラバス

沖縄県立泊高等学校通信制課程

科目名	単位数	年次	履修	スクーリング	レポート
生物基礎（後期）	2	1年次	選択必履修	8回	6回

1. 生物基礎の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 生物基礎の概要

- (1) 生物の特徴 (2) 遺伝子とその働き (3) ヒトのからだの調節
(4) 生物の多様性と生態系

3. 使用教材

- (1) 教科書（第一学習 生基711「高等学校 新生物基礎」）
(2) 令和5年度「生物基礎」報告課題

4. 履修上の心得

- (1) スクーリングを8時間出席する。
(2) レポートを6回全部提出する。
(3) 定期テストを受ける。

5. 評価の方法

上記4の(1)～(3)の条件を満たした場合に、総合的に評価を行う。
学習の評価は、観点別学習状況の評価を行う。【知識・技能】，【思考力・判断力・表現力】，【主体的に取り組む態度】の3つの観点から、それぞれ十分満足できる(A)、おおむね満足できる(B)、努力を要する(C)の3段階で評価する。

6. 年間指導計画

面接回数	面接日	学習内容	レポート メ切	面接回数	面接日	学習内容	レポート メ切
1	10/1/2	1章1・2節 生物の特徴	10/11	5	11/5/6	4章1節 植生と遷移	11/15
2	10/8/9	2章1・2節 遺伝子と その働き	10/18	6	11/12/13	4章2節 生態系とその 保全	11/22
3	10/15/16	3章1節 からだの 調節と情報 の伝達	10/25	7	11/19/20	実験・実習	
4	10/29/30	3章2節 免疫	11/8	8	11/26/27	まとめ・定期 考査対策	

令和5年度 地学基礎シラバス

沖縄県立泊高等学校通信制課程

科目名	単位数	年次	履修	スクーリング	レポート
地学基礎（後期）	2	2年次	選択必修	8回	6回

1. 地学基礎の目標

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえる。
- (2) 地球や地球を取り巻く環境に対して目的意識をもって観察・実験を行い、地学的に探究する能力と態度を育てる。地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地学的な見方や考え方を養う。

2. 地学基礎の概要

- (1) 宇宙の進化
- (2) 地球の変遷と生物の進化
- (3) 地球と地球のこれから

3. 使用教材

- (1) 教科書（東京書籍 地学基礎）
- (2) 令和5年度「地学基礎」報告課題

4. 履修上の心得

- (1) スクーリングを8時間出席する。
- (2) レポートを6回全部提出する。
- (3) 定期テストを受ける。

5. 評価の方法

- (1) 上記4の(1)～(3)の条件を満たした場合に、総合的に評価を行う。
- (2) 学習の評価は、観点別学習状況の評価を行う。【知識・技能】，【思考力・判断力・表現力】，【主体的に取り組む態度】の3つの観点から、それぞれ十分満足できる(A)、おおむね満足できる(B)、努力を要する(C)の3段階で評価する。

6. 年間指導計画

面接回数	面接日	学習内容等	レポートメ切	放送代替する場合のNHK 高校講座「地学基礎」の放送回
1	10/ 1(日)・ 2(月)	1-1 大地とその動き	10/11	第18回、第20回
2	10/ 8(日)・ 9(月)	1-2 火山活動と地震	10/18	第23回、第24回
3	10/15(日)・16(月)	2 私たちの空と海	10/25	第28回、第33回
4	10/22(日)・23(月)	3 私たちの宇宙の誕生	11/ 1	第 1回、第 5回
5	11/ 5(日)・ 6(月)	4 私たちの地球の歴史	11/15	第12回、第16回
6	11/12(日)・13(月)	5 地球に生きる私たち	11/22	第35回、第39回
7	11/26(日)・27(月)	実験・実習等	—	1回につき放送代替で視聴していない放送回2回分
8	12/ 3(日)・ 4(月)	定期考査対策・問題演習	—	
—	1/ 7(日)・ 8(月)	定期考査	—	—

※スクーリングを欠席した場合は、4回までNHK 高校講座「地学基礎」の指定された放送回2回分を視聴し、視聴報告書を提出することでスクーリングに代替できる。

※レポートは3回まで提出期限に遅れて提出できる。ただし、再提出レポート、視聴報告書を含め最終期限（令和5年度後期は12/13(水)）を超えることはできない。

※詳細は学習手帳に記載されている通り。

令和5年度 「科学と人間生活」 シラバス

沖縄県立泊高等学校通信制課程

科目名	単位数	年次	履修	スクーリング	レポート
科学と人間生活（前期）	2	1年次	選択必履修	8回	6回

1. 科学と人間生活の目標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 科学と人間生活の概要

(1) 物質の科学 (2) 生命の科学 (3) 熱や光の科学 (4) 地球や宇宙の科学

3. 使用教材

- (1) 教科書（第一学習社 高等学校 科学と人間生活）
- (2) 令和5年度「科学と人間生活」報告課題

4. 履修上の心得

- (1) スクーリングを8時間出席する。
- (2) レポートを6回全部提出する。
- (3) 定期テストを受ける。

5. 評価の方法

上記4の(1)～(3)の条件を満たした場合に、総合的に評価を行う。

学習の評価は、観点別学習状況の評価を行う。【知識・技能】，【思考力・判断力・表現力】，【主体的に取り組む態度】の3つの観点から、それぞれ十分満足できる(A)、おおむね満足できる(B)、努力を要する(C)の3段階で評価する。

6. 年間指導計画

面接回数	面接日	学習内容	レポートメ切	面接回数	面接日	学習内容	レポートメ切
1	4/16/17	I章1節 材料と その利用(1)	4/26	5	5/14/15	IV部1章 自然景観と 自然災害(1)	5/24
2	4/23/24	I章1節 材料と その利用(2)	5/7	6	6/18/19	IV部1章 自然景観と 自然災害(2)	6/28
3	4/30 5/1	II章2節 微生物 その利用	5/10	7	6/25/26	実験・実習	
4	5/7/8	III章2節 光の性質と その利用	5/17	8	7/2/3	まとめ・定期 考査対策	

令和5年度 理科実験・実習シラバス

沖縄県立泊高等学校通信制課程

科目名	単位数	年次	履修	スクーリング	レポート
理科実験実習（後期）	1	3年次	学校設定	4回	4回

1. 理科実験・実習の目標

理科実験・実習を通して、「仮説をたて、実験・観察方法を考え、実験・観察を行い、結果から考察する」という理科の基本的な考え方を学習すること

2. 理科実験・実習の概要

- (1) 基本的な理科実験を行う時の注意事項
- (2) 実験・実習レポートの書き方の学習およびレポートの作成方法

3. 評価の方法

レポートと定期テストを元に、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の三観点で評価する

4. 使用教材

- (1) 教科書 啓林館「科学と人間生活」
- (2) 令和5年度理科実験・実習報告課題

5. 履修上の心得

スクーリングを全4回出席し、レポートを全て提出し、定期テストを受ける事

6. 年間指導計画

面接回数	面接日	学習内容	レポートメ切
1	10月8日 9日	①理科実験を行う時の注意事項の確認 ②理科実験の基本操作 (試薬の取り出し方、顕微鏡の使い方など) ③実習観察の方法	10月18日
2	10月29日 30日	①実験・自習レポートの書き方 ②資料の活用方法とレポートへの引用の仕方	11月8日
3	11月12日 13日	①実験・実習 ②実験・実習レポートの作成	11月22日 ※午後4時まで
4	11月19日 20日	①実験・実習 ②実験・実習レポートの作成	11月29日